

# 10月留学報告

城西ロータリークラブ様のご支援のもと、フランス・アラスに派遣されました松岡彩葉です。今月は、自分の夢がたくさん実現した充実の月となりました。日々の学びや挑戦を通じて、多くの貴重な経験を積むことができ、心から感謝しております。

## モン・サン・ミッシェル研修



この期間、他地区の留学生約100名が集まり、世界遺産モン・サン・ミッシェルをようするノルマンディー地方で、2泊3日のオリエンテーションが行われました。



とし  
らに  
星の  
なっ  
です、  
らア  
いる  
が土



続く第二次世界大戦ではノルマンディー上陸作戦によって多くの犠牲者が生まれました。墓地に並ぶ記念碑は、六芒形をしたものなどさまざまな形があります。これは、亡くなった兵士の宗教や文化の違いに合わせて設計されているそう。これらの兵士を悼むために整備された墓地は、フランスかメリカへ「無償で永久貸与」された土地の上に建てられてという特別な仕組みによって維持されています。フランス地を提供し、アメリカが建設と管理を行う形で今も大切に守っていました。実際に約9,389名の方々の記念碑を目の当たりにし、戦争で失われた命の重みを深く感じました。平和の尊さや、歴史から学ぶことの大切さを改めて実感する貴重な経験となりました。



2日目は、モン・サン・ミッシェル（修道院）の中には入らず約2時間半かけて周りの干潟を歩きました。主に三つの川が流れています、頻繁にその流れを大きく変え、その周りに「動く砂」ができるで危険な為、散策は砂浜専門の特別ガイドさんと一緒に行いました。泥パックでも使われるくらいお肌に良いらしくとてもすべすべもちもちのお肌になりました。



3日目朝早くホテルからモン・サン・ミッシェルに向かいました。お昼に見る景色とは全く別物で本当に感動しました。念願の修道院にも入ることができました。外観の美しさとは異なり、修道院内部は簡素で静かで、想像よりも何もありませんでしたが、自分の目で見て歩けたことは貴重な体験となり、良い思い出になりました。観光客価格で全てがとても高く感じました。円安の影響もあり日本の3~4倍の価格で売られていてクレ



# 10月留学報告

普を食べようと思ったけど値段見てお腹いっぱいになり食べる気失いました。

## パリ・ボルドー旅行

フランスはバカンス文化が強く、国として休暇を大切にしているため、高校には2週間の秋休みがあります。その休みで生徒たちは学期の疲れをしっかりとリフレッシュできます。また、家族と過ごす時間を確保したり、国内外へ旅行に出かけたりすることも多く、フランスならではの休暇の過ごし方を体験できる期間となっています。さらに、この休暇期間中は観光地やホテル、レストランなどの経済活動も活発になり、地域の経済にとっても重要な役割を果たしているそうです。私はこの秋休みを利用して、福岡の姉妹都市であるボルドーとパリを訪れることができました。私が住んでる街から車で約2時間電車で1時間



で行けるパリ、1日目はベルサイユ宮殿を訪れました。言葉では言い表せないほど美しく、その時代にタイムスリップしたような気分になりました。だけど同時に、多くの人々から憧れを受けながら、ある意味豪華な牢獄のようでもあったのではと自分の中で感じました、マリー・アントワネットは本当に心は自由だったのだろうか、豪華な暮らしをしていた裏腹に本人にしかわからない闇があったのではないか、自分の目で見ると色んな気持ちを感じることができました。物事の表面だけで判断するのではなく、自分の目で見て、心で感じることの大切さ、本当の幸せとは何かを考えさせられた一日でした。

次に私が滞在したボルドーは、福岡市と1982年に姉妹都市提携を結んでいる街です。港町として発展してきた点や、国際的な文化を受け入れる開かれた雰囲気が福岡と似ていて、とても親しみを感じました。ボルドーはワインで世界的に有名です、滞在中、私はボルドーの象徴的なワインミュージアム、La Cité du Vin シテ・デュ・ヴァンに行きました。建物自体がぶどうのツルを模したデザインで、とても印象的でした。館内ではワインの歴史や製造過程、世界中のワイン文化を五感で体験できる展示があり、視覚・聴覚・触覚を通してワインの奥深さを学ぶことができました。プロジェクトやインタラクティブな展示を通して、メルロー主体の右岸ワインは柔らかくフルーティー、カベル

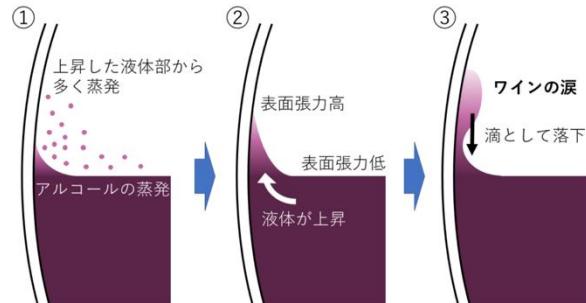
ネ・ソーヴィニヨン主体の左岸ワインは力強くタンニン豊富、といった地域ごとの特徴や樽の香りによる熟成の違いを目で「味わう」体験ができました。展望スペースに上がると、8階からボルドー市街が360度見渡せる景色とともに、世界各地のワインをひと口ずつ楽しめる時間もあって、とてもフランスらしい光景でした（私は未成年なのでぶどうジュースで我慢しました）このミュージアムは、ワイン好きじゃなくても、ワインが飲めなくてもワインの文化・歴史



# 10月留学報告

を深く理解できるだけでなく、建築や演出そのものがアートになっていて、「ワイン=ただ飲むもの」以上の側面を感じられる貴重な体験でした。目で見て・心で感じるワインの世界✿とても楽しかったです！

## ワイン



✿「ワインの涙」の秘密✿ ワインをグラスで回すと、液体がグラスの内側を伝って下りる「ワインの涙・レッグ」ができる！これはアルコール濃度と表面張力の関係でできる現象で、ワインのアルコール度数や糖分をなんとか見る指標にもなるそう！



街全体もユネスコ世界遺産に登録されるほど美しく、石造りの建物や川沿いの景色が印象的でした。名物のカヌレも、ホストマザーの親戚と一緒に手作りして味わうことができ、本場の文化に触れる貴重な体験になりました。家の近くには大きなアジアンスーパーがあり、材料をそろえて餃子も作りました。フランス人にはアジア料理も比較的好まれるようで、私のホストファミリーにもとても喜んでもらえ、「あなたを受け入れられて本当に良かった」と言ってもらえて、とても心がきゅっとなりました。福岡とボルドーの長い友好の歴史の中で、こうして実際に文化交流を体験できたことは私の中でとても大きな財産になりました。



今月は長期休暇もあり、これまで緊張の連続だった日々の疲れを癒すことができました。ゆったりとした時間を過ごす中で、自分自身のペースを取り戻すことができ、留学生活に向けて新たな気持ちで挑む準備ができた充実した期間となりました。留学生活はまだ続きますが、城西ロータリークラブ様をはじめ、ホストファミリーやホストクラブ、そして支えてくださる全て

# 10月留学報告

の方々への感謝の気持ちを改めて胸に刻み、来月も学びと成長にあふれる日々を送れるよう努力してまいります。よろしくお願い致します！

松岡彩葉